



竹山 また家庭にもたらすインパクトも大きいものがありました。というのも実際の紙がプリンタから出てくるので、保護者は手に取って見ることが出来ます。麻布や開成といった首

——コスト面の心配が少ないのは嬉しいですね。
竹山 また家庭にもたらすインパクトも大きいものがありました。というのも実際の紙がプリンタから出てくるので、保護者は手に取って見ることが出来ます。麻布や開成といった首

——教育の未来、塾経営の未来に期待することをお聞かせください。
竹山 タブレットが普及しているとはいえ、今現在、テストは紙でおこなわれています。それを考えると、

——赤本の活用範囲を広げられたのは前進だったと感じるものの、反対に過去問しかないのが教科書に準じたものも提供できたかと思えます。そういう意味でも他社の皆様もエプソンコネク

ている過去問題は全て著作権処理がされているので、安心感があるのが1つ。
しかも、赤本に基づいているため必ず効果は出るだろうと確信していました。間違った問題に対する類題を他校の入試問題から選出し、生徒がやりきれる量を調整しながらタイムリーに送りました。そうすることで生徒の負担感を軽減させ、例年よりも多く演習量

を確保することができたのは大きかったですね。おかげで今年の受験では大成功を収めています。
エプソンコネクトを使うことで、この仕組みが実現できたということは、まさしくDXだと思っています。
原 量販店で売っているプリンタでもエプソンコネクトは使用できますし、インクは1瓶で4000枚ほど印刷するボトルタイプを採用。1年間、インクの交換は1件も発生して

——反対に課題に感じたことをお聞かせください。
竹山 カワセミライトで問題を作り、ダウンロードしてデータ送信するという手間が大変だなと：問題が異なれば一括送信ができず、1学年8名のアイデアスポットだからですが、大人数だと難しいと思います。また当初はデータが届いたかどうか家庭と塾がお互いに不安で、確認の電話が鳴り止みませんでした。でもカワセミライトの最新版は管理画面が設置され、それが解消されています。
——教育の未来、塾経営の未来に期待することをお聞かせください。
竹山 タブレットが普及しているとはいえ、今現在、テストは紙でおこなわれています。それを考えると、

指導においても紙を意識すべきだと考えます。またコロナ禍以前にこのお話をいただいた時は、海外での指導を想定していましたので、海外在住者にも教えられる仕組みを構築したいです。それから今回、2つのシステムを掛け合わせることで、新しいサービスが生まれることを実感しました。塾業界にはいろいろな教材がありますが、それぞれの接続性を高めることで選択肢が増え、個別最適化にも役立つと思います。
金子 当社としては今回、赤本の活用範囲を広げられたのは前進だったと感じるものの、反対に過去問しかないのが教科書に準じたものも提供できたかと思えます。そういう意味でも他社の皆様もエプソンコネク

に参画していただけたら、盛り上がるのではないかとあります。
原 エプソンコネクトはオープンなシステムなので、ほかの教育事業者さんの参画はウェルカムです。し、今後は接続性をもっとよくしていきたいですね。
あと幼少期の学習は紙がメインなので、学習履歴をオープンにすることで、「こ



原 基彰 氏

2021年10月28日、29日に開催した「私塾界リーダーズフォーラム ONLINE 2021 A/W」のセッションの様態を最速でレポート。当日ご参加できなかった方も、本欄の最後に読者限定で配信動画をご覧ください。

塾教材DX化最前線

第1部

～英俊社×idea spot×エプソンの事例から～

第1部はICT教材を販売する企業2社と、それを活用する学習塾1社が登壇した。ICT教材からは、セイコーエプソン P事業推進部の原基彰氏、英俊社の金子直純氏、学習塾からはidea spot（イデアスポット）代表の竹山隼矢氏が参加した。三者が協働して取り組んだ事業の課題と、成果とは？

課題返却までのタイムラグを短縮

——まずは皆様の簡単な自己紹介をお願いします。
竹山 2016年創業のイデアスポットは京都に2教室展開しています。

金子 大阪が本社の英俊社は「赤本」でお馴染みの過去問がメインの出版社で、近年は赤本のデータを使っ



金子 直純 氏

て自由にプリント教材ができる「カワセミライト」を提供しています。

原 プリンタなどの製品を展開しているセイコーエプソンは近年、教育事業にもアプローチしています。例えばイデアスポットさんには、英俊社さんのカワセミライトと、オンライン印刷できる当社の「エプソンコネクト」を組み合わせた

サービスを、1年間トライアル運用いただいています。
——カワセミライトとエプソンコネクトを組み合わせたサービスは、どのようにして誕生したのでしょうか。
原 エプソンコネクト自体が誕生したのは7～8年前。当時はまだ使い方の提案までしていなかったのですが、私がある大手予備校でチューターをしていた経験があり、教育には思い入れがあったんです。そうしな、エプソンコネクトは教育に活用できるとにらみ、コロナ禍前から英俊社の金子さんに相談していました。
——現在はトライアル中とのことですが、イデアスポットさんでのご使用状況をお聞かせください。

——トライアルをしてみても、感想をお願いします。

受験で大成功を収めるなど効果を実感

竹山 小学生の家庭にプリンタ本体を送り、イデアスポットはカワセミライトでオリジナルの課題を作成してデータ送信。プリンタから課題を出力して解いた生徒は、解き終わったものをスキャンして塾に返送します。これまでは家で解いたノートでやり取りしていたので、解いてから返却するまでに2～3日かかっていました



竹山 隼矢 代表

が、この方法だとその日にフィードバックが可能。課題に対する生徒の熱が冷めないうちに返却できますし、コロナ禍でも演習量を減らせずに済んでいます。

竹山 まずカワセミライトについてですが、掲載され